



82 nd CRC Seminar

島本 啓子 先生

サントリー生物有機科学研究所・主幹研究員

「天然物の構造決定：大腸菌タンパク質膜挿入因子 MPIase の姿を知りたい！」

時間：2013年7月18日（木）16:30～17:30

場所：総合教育研究棟（生命系）1階 遠隔講義室

MPIase (Membrane Protein Integrase) は、大腸菌におけるタンパク質膜挿入に必須の糖脂質です。この構造が最近、寒冷バイオフィロンティア研究センターと島本先生らサントリー生物有機科学研究所のグループとの共同研究により完全に明らかになり、昨年末に Nature Communications に報告されました。MPIase は糖脂質でありながら酵素様の機能をもつことから「糖脂質酵素 (Glycolipozyme)」という概念を提唱し多くの注目を集めています。今回、MPIase のような複雑な天然化合物の構造をいかにして明らかにしていくかについて概説いただきます。なお、島本先生には本年度より本学寒冷バイオフィロンティア研究センターの客員教授をお引き受けいただいております。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

(問合先：西山賢一：nishiyam@iwate-u.ac.jp)